

台湾の近現代と日本

日台学術シンポジウム

2017年
日時：10/17 火
13:10~18:10

場所：中京大学名古屋キャンパス
9号館 922・926 教室
(校地Ⅱ 法学部棟)

プログラム

《日台学術交流会》

基調講演

922 教室

「戦後日本における台湾人の国籍問題に関する再考
—王育徳家族の事例を中心に—」

国立政治大学教授兼文学院院长 薛 化元

日台学術シンポジウム

926 教室

「台湾歌謡の中に見る日本の影響」

国立台湾歴史博物館助理研究員 黄 裕元

「1950年代における日本から台湾への出版物輸出」

国立政治大学副教授 林 果顯

「台湾視察報告」

中京大学法学部教授 檀上 弘文

「植民地期台湾の地方行政文書内容に関する研究
—旧県公文類纂を例として—」

国立台湾歴史博物館助理研究員 林 孟欣

「戦後台湾銀行の接收と貨幣問題」

国立政治大学副教授 李 為楨

コメンテーター： 中京大学法学部准教授 京 俊介

中京大学社会科学研究所研究員 東山 京子

通訳： 国立政治大学副教授 李 為楨

中京大学社会科学研究所研究員 鈴木 哲造

主催：中京大学大学院法学研究科

共催：中京大学社会科学研究所

中京大学大学院経済学研究科総合政策学専攻

後援：中京大学先端共同研究機構

国立政治大学台湾史研究所

台北駐日経済文化代表処台湾文化センター